地域に根ざし、
未来へ広がる



住用学園

校章デザイン提案書 _ C

14 集落のつながりを、ひとつの花に。
メヒルギの花とマングローブの根に重ねた、
新しい学びの象徴。

2026.11.02

01 / CONCEPT

14 の集落の想いを、一つの学びの輪へ。



「デザインの意図」「目的」「方向性」など
DESIGN STATEMENT

地域に根ざし、未来へ広がる。

住用町の自然を象徴するメヒルギ（マングローブ）の花をモチーフに、地域のつながりと新たな学びの場の誕生を表現しました。

14 個のオブジェクトには、住用町の 14 集落それぞれの歴史や想いを重ねています。

異なる個性が一つにつながり、ともに未来へ歩み出す姿を表した校章です。

継承　結　成長　未来

02

造形に込めた意味 14 の集落と 4 つの学校が、一つの学園へつながる。

14 のオブジェクト

一つひとつの形は、住用町の 14 集落を表しています。
それぞれの地域が大切にしてきた歩みや個性が寄り添い、
住用学園という一つの輪を形づくります。

4 校の継承と成長

赤く示した 4 つの造形には、統合される
4 校の歴史を受け継ぐ意味を込めています。

両手を広げる子どもの姿も表現。



※ 赤色は説明用のために赤く表示しております。

03

根を結び、未来へ伸びる。

「中心に向かう流れ」と「四方へ広がる形」に、二つの意味を込めて。



中心へ集まる曲線を、マングローブの根に重ねる。

集まり、根づき、広がる。

中心へと向かう曲線には、マングローブが水辺に根を張り、
互いを支え合う姿を重ねています。
14 集落の想いや 4 校の歩みが一つに集まると同時に、
中心から外へ広がる形は、地域に支えられた子どもたちが
未来へ成長していく姿を表現しています。

地域にしっかり根を張り、
自分らしい未来へ伸びていく。

04

住用の風土と生命の豊かさ

上部｜広がる自然

上へ伸びる造形は、住用の山々や
豊かな森など、地域を包む大自然を
象徴しています。

下部｜マングローブの水辺

下へ流れる曲線は、
マングローブが広がる水辺や、
根が水とつながる姿をイメージしています。

曲線｜生命の循環

中心から広がり、また中心へ集まる流れに、
水の循環と生命のつながりを重ねています。



05

形も色も、長く親しまれるために。

基本カラー

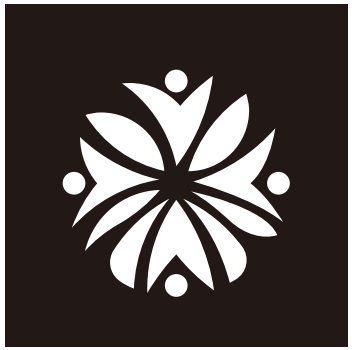
自然の豊かさと、子どもたちの成長を感じさせる
明るくやさしい緑を採用しています。

Emblem Green	C：40	R：168
	M：0	G：209
	Y：65	B：118
	K：0	

単色でも伝わる、明快な形



濃色版（例）



白抜き版（例）

使用時は縦横比を保ち、十分な余白を確保。
小さな印刷物や刺繍では再現性を確認します。
※ 色指定・最小サイズ・基本ルール等は採用後に確定。

06 / IMAGE

活用イメージ











07

14 の集落の想いを受け継ぎ、住用の自然とともに未来へ。



メヒルギの花をモチーフに、住用の自然と地域のつながりを一つの形へ。
中心へ集まる曲線はマングローブの根のように支え合う姿を、外へ広がる
造形は子どもたちの成長を象徴します。
地域に深く根ざし、さまざまな個性が一つにつながり、未来へ向かって花開いていく。
その願いを込めて、住用学園の校章として提案します。